

## 放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和元年 1月 10日

事業所名: こども発達さぽーとセンターるぼろ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動場所と遊びの場を分けるなど場所の使い方を工夫し、できるだけ広いスペースを確保できるようにしている。	はい 19 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 0 ・十分にスペースが確保されていると思います	今後も活動に応じて環境を構成し、出来るだけ広く部屋を使用できるように室内配置を工夫する。
	2	職員の適切な配置	職員2名の常時配置の他に、個別への関りが必要な時は応援に入れる職員体制に努めている。	はい 12 どちらともいえない 6 いいえ 0 わからない 2 ・大丈夫だと思います	今後も適切な職員配置に努める。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	必要に応じて絵カードでスケジュールを提示したり、クッキングの手順を写真で提示している。また、身支度スペースがわかりやすいように棚の配置を変更している。	はい 16 どちらともいえない 2 いいえ 1 わからない 1 ・以前はカードやパソコンを使って分かりやすく説明されていたが、今はないのが寂しい。 ・先生方のサポート分かりやすくしていただいていると思います。	個々に合った伝達方法を考え、必要に応じてカードや実物等で伝えるように努めていく。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎朝清掃をしています。	はい 17 どちらともいえない 3 いいえ 0 わからない 0 ・最近配置が変わってより良くなったと思います。	今後も清潔で気持ち良い環境の中で療育ができるよう努める。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的に職員会議を開催し、支援方法や業務改善を話し合っている。	/	今後も継続する。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	今年度は外部評価を受審していない。	/	今後外部評価の受審に向け検討する。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	施設外研修に参加したり、外部からスーパーバイザーを招き助言を受けるなど、職員の質向上を図っている。また、外部からの講師による研修会を図っている。	/	今後も積極的に研修会に参加する。また、定期的にスーパーバイザーの招へいによる内部研修の実施にて、職員のスキルアップを図る。
適切	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	サービス提供時に子どもの観察、保護者との面談を行いながら支援計画を作成している。また定期的に職員会議で支援内容の確認を行っている。	はい 19 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 0 ・私たちの困っていることしてほしいことをよく聞いてくださっています。	継続して職員会議を通して、様々な職種・職員が意見を出し合い、様々な視点からアセスメントを行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
な 支 援 の 提 供	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの特性に応じて、集団活動と個別活動を組み合わせた計画を作成している。	今後も保育士・療法士が協働し、個別活動と集団活動での共通理解をもって支援計画の作成に努める。	
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援計画の中で専門用語を少なくし、具体例を挙げるなどしてわかりやすく記載している。	はい 18 どちらともいえない 2 ・問題ないです。 いいえ 0 わからない 0	今後も継続する。
適 切 な 支 援 の 提 供 ( 続 き )	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画の目標を意識しやすいように、記録用紙と一緒に目標を書いた用紙を準備している。	はい 17 どちらともいえない 2 ・子どもの発達に合わせてして下さってます。 いいえ 0 わからない 1	引き続き、支援計画の目標に沿った活動を行う。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	各グループの担当で話し合い、子どもの課題に沿った活動を決定している。		今後も担当者間で振り返りを行ったり、子どもの課題に沿った活動を専門職の意見も取り入れながら計画する。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇の際は、午前午後の時間帯を希望に沿いながら実施している。また、長期休暇時期に合わせた活動内容を提供している。		引き続き、長期休暇に合わせて療育時間を変更し、子どもとの細やかな関わりをしていきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	個別支援計画に沿って、季節に合わせた活動プログラムを提供している。但し、見通しを持って活動できるという目的で、同じ活動を繰り返し行う場合もある。	はい 16 どちらともいえない 4 ・している内容がよく分からない いいえ 0 わからない 0 ・毎回様々な内容でされていると思います。	季節に応じた活動を実施していきながら子ども達の活動の幅を広げていく。 子どもの発達に応じて反復活動したり、変化を持たせたりしながら実施します。 内容については毎回保護者へのフィードバックで分かりやすく伝えていく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	担当者間で活動内容や役割など打ち合わせてから活動に臨んでいる。		引き続き、担当者間で共通意識を持つように努める。
9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	療育終了後に担当者間で振り返りをしながら記録し情報共有している。		今後も継続して取り組む。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施		子どもの行動から考察し、次回の支援に活かしていけるようPDCAサイクルに沿った支援に努める。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し		今後も継続する。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画		引き続き、子どもの状態を把握している担当者が担当者会議に参加し、他事業所と共通認識をもつ。
	2	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアが必要な子どもの受け入れは現在実施していない。	
	3	<b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケアが必要な子どもの受け入れは現在実施していない。	
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	小学校の担任の先生が見学にきたり、担当者が小学校に訪問したりして子どもの状態や情報を共有している。	引き続き、関係機関との担当者会議や、報告書を通じ支援方法を伝えるなどして情報を共有していく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	担当の相談支援専門員を通じて情報提供を行っている。	つながりのある支援ができるよう、情報共有に努めたい。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	定期的に近隣の専門機関に出向き、職員の質向上を目指した勉強会に参加しています。	引き続き、専門機関との勉強会に参加し、職員の質向上に努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	併設こども園の季節行事に合わせ、バザーの出し物をしているが、他事業所との交流を持つ機会を作れていない。	はい 10 どちらともいえない 4 いいえ 2 わからない 3 無記入 1	・とても助かり、利用させて頂いています。 ・来所日数も少ないので難しいと思います。夏休み冬休み等の長期の休みの間にしてほしいです。	長期休暇を利用して、地域の施設に出かけたり関わりが持てるように今後検討する。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	年に1回開催されるバザーで出し物をし、こども園の保護者や子どもに参加して頂いている。また、当法人が開催している地域交流イベントでジュース販売などのお手伝いをしている。			今後もこども園や法人施設へ出向き、行事に参加しながら地域住民との触れ合いを大切にしていきたいと考えます。
保護者への説	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に重要事項の説明と同意を得ており、また、その内容の変更の都度、説明と覚書を取り交わしている。支援内容については療育終了後のフィードバックで毎回伝えている。	はい 19 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 0	・理解しています	継続して対応する。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画を保護者にも分かりやすい表現とし、読み上げて十分に理解できるようにしている。	はい 20 どちらともいえない 0 いいえ 0 わからない 0	・丁寧に説明してくださっています	保護者の方と共通理解をもって子どもの成長をみていけるよう、支援計画の丁寧な説明に努める。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	定期的に親講座を実施し、保護者に参加していただいている。今年度は療法士による「読み書きの力を育てるあそび」、行政担当による「手帳に関する講座」を実施する。	はい 15 どちらともいえない 2 いいえ 0 わからない 3	・前回受講させて頂いてとても参考になりました ・受講しやすいテーマになっていると思います。 ・家族支援プログラムをうけていない。	引き続き、療育が休みの日を利用して、保育士や作業療法士、言語聴覚士による講座を実施する。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎回療育終了後に、保護者の方に対して活動の様子や状況、課題についてお伝えしている。	はい 18 どちらともいえない 2 いいえ 0 わからない 0	・モニタリング助かります ・個別に話すことが少し難しいように思います。	全体のフィードバックのみでは伝えきれない事については個別の説明に努める。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者の方から相談があったときには面談の時間を設定し、個別での対応を行っている。	はい 14 どちらともいえない 2 いいえ 0 わからない 4	・支援計画の変更、更新時くらいです。	相談しやすい雰囲気を作り、個別面談の設定をする仕組みについて再度全体に周知する。



区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
明責・連携支援	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会を設けていない。 親講座の時に保護者同士で話をする機会を作っている。	はい 6 どちらともいえない 6 いいえ 4 わからない 4 ・放課後デイサービス等でも保護者会などが関係しているのか分からない。 ・保護者会がないのでなんともいえません。	引き続き、同じ地域の保護者同士の意見交換の場を親講座を通して設ける。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情対応体制の説明を行っている。苦情に対しては受付日に保護者と面談し対応に努めている。	はい 10 どちらともいえない 4 いいえ 0 わからない 5 無記入 1 ・プリント見えています。 ・どういった苦情があるのかそれをどのように対応しているかは不明です。 ・あまり経験がなくよくわからない。	継続して、組織全体で、子どもへの関わりや声掛けは適切であるか見直し、常に丁寧な関わりを意識することを徹底したい。 また、対応した苦情については、事業所内掲示等で周知することを検討する。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	小集団終了後に毎回フィードバックを行っている。必要に応じて写真やビデオでも伝えている。子どもに対しては必要に応じてカードを使用してスケジュールを提示している	はい 17 どちらともいえない 2 いいえ 0 わからない 1 ・毎回のフィードバックで教えて下さってます	今後も配慮に努める。 保護者の方へ対してもわかりやすくお伝えできるようにフィードバックで実物をお見せしたり、実際に活動を見る機会を設けたい。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月るぼろ便りで予定や各グループの活動紹介、避難訓練実施の報告などを行っている。	はい 19 どちらともいえない 1 いいえ 0 わからない 0 ・説明していただき、ありがとうございます。毎月楽しみにしています。	引き続き、発信報告していく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報使用同意書を作成し、外部へ提供する場合は同意が得られている場合のみ行う。個人情報が含まれる書類は施錠管理している。	はい 16 どちらともいえない 0 いいえ 1 わからない 3	今後も管理徹底する。また、個人情報の範囲を含め、取扱いに関する職員研修を検討する。
1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各種マニュアルを策定し、併設こども園と合同での委員会活動を行っている。嘔吐時対応訓練、防犯訓練、散歩時の事故予防研修など施設内研修を行っている。	はい 17 どちらともいえない 2 いいえ 0 わからない 1 ・よく分からないです。	訓練や研修の様子をお便り(機関紙)で掲載するなど、保護者への周知に努める。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	毎月1回、施設全体で様々な場面を想定し訓練を実施している。放課後デイサービス内で実施することは少ないが、職員がスムーズに対応できるように訓練を重ねている。	はい 11 どちらともいえない 1 いいえ 1 わからない 7 ・とっても心配しています。ぜひ、訓練を行ってください。よろしくお願いします。	周知が徹底できていなかったため、避難訓練を実施したことを毎月のお便り(機関紙)で周知していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止責任者を中心に虐待の防止を啓発・普及するための研修を実施している。		リスクマネジメント会議の開催など、職員間で情報を共有し、子どもの尊厳を守るという意識を高めていく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	子どもの特性や状況を職員間で教諭し、パニックが起こった際には適切に対応するため、身体拘束は行っていない。 もし、やむを得ず拘束が必要とされる場合は、担当者会議でその必要性を検討し、会議録・個別支援計画の作成および保護者への説明と書面での同意を得たうえで適切に対応する。		今後も身体拘束廃止に向け、職員研修を図りたい。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	クッキング等で食材を扱う時には、保護者の方に使用する食材の中でアレルギーがないか確認をしている。		アレルギーに関するリスクを十分理解し、子どもの命を守るため今後も適切な対応を徹底したい。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例が発生した場合には、報告書の提出と、職員朝礼時に確認・共有している。		ヒヤリハット事例に対して、迅速に分析・対応することにより、全体で危機管理に努めていく。